



第8回食育活動表彰
審査委員特別賞

教育関係者・事業者部門【教育等関係者の部】

審査委員特別賞

岡山県立大学 保健福祉学部子ども学科

[岡山県 : 活動期間 3年]

雑草型幼児教育人材育成 -食を巡る学際的取組み-

日本の食を取り巻く環境変化が深刻化

現在、日本の食を取り巻く環境変化が深刻化しており、食の持続可能性が懸念されています。そこで、保育者を目指す岡山県立大学子ども学科の学生たちは、野菜の栽培体験を通じた食育プログラムの開発とその実践を行うことで、課題解決に取り組んでいます。今後は、地元企業やアリゾナ大学との連携を図り、プログラムの更なる発展を目指していきます。



野菜調べとガーデン内の
配置案作成



草マルチのレクチャーを受ける様子

保育者を目指す学生たちが野菜の種まきから栽培、調理とそのプロセスを体験

岡山県立大学保健福祉学部子ども学科では、学生が野菜の種まきから栽培、調理までのプロセスを体験し、これらを学問領域へと連関させる取り組みを行っています。保育者を目指す学生たち自身が四季を通じて野菜の栽培方法を学ぶことで、食とそれを取り巻く環境や、他領域についての知識を深めます。



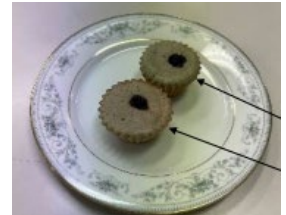
種まき



畝立 & 苗植え



収穫した大麦・ブルーベリーを使用して調理



岡山の食文化も取り込んだ幼児向けの食育プログラムを作成し実践

学生たちは、自らの栽培体験と様々な学問分野を連関させながら、岡山の食文化も取り込んだ幼児向けの食育プログラムの作成に励んでいます。学生が地域の保育園、社会福祉法人、企業等と協力してプログラムを実践し、効果の検証や内容の変更、修正を行っています。将来保育者になる学生たちが、食育プログラムの作成を通して食に関する横断的知識を得ることは、子どもたちの生涯にわたる心身の健康を支える食育活動への寄与に繋がります。



地域の保育園とコラボレーション



親子食育体験会



将来の保育者を目指す学生たちが、学内スクールの農業体験と食を取り巻く複合的分野の知識を融合させ、幼児期の子どもたちへの教育にどう展開できるのか、独自のプログラム開発を目指しています。まだ始めたばかりの取組であり、困難に感じることも多いですが、今回の受賞を励みにして努力してまいります。

岡山県立大学保健福祉学部子ども学科一同